

シナリオ 1：行政主導のリサイクル徹底型

《キーワード》 大量生産・大量消費・大量リサイクル（使い捨て文化、リサイクル依存）、エネルギー回収最大化、ごみ処理費増大

《社会イメージ》○従来の生活や事業活動の様式を継続します。大量生産・大量消費の結果、廃棄物として排出されたものを行政が回収し、処理・リサイクルします。

○行政は分別収集品目を拡大、細分化し、分別ルール of 徹底を図ります。焼却処理については、順次、高効率な発電を導入し、廃棄物からエネルギーを最大限回収するシステムへ移行します。

○市民は行政が定めたルールに従ってごみの分別をしっかりやれば、あとは行政が税金でなんとかしてくれるので、買い物をするときに、環境やごみのことを特段考える必要はありません。

○分別収集費用に加え、資源やエネルギーを最大限回収するための施設整備にも多大な費用を要するため、税負担の増加、あるいは福祉等の他の行政サービスに回せる税金は削減されます。

➡市民と事業者はこれまでどおりの生活や事業活動の様式を継続します。行政主導により分別収集・リサイクルを徹底して行い、残ったごみは従来型の焼却により対応します。

言わば 行政主導のリサイクル徹底型

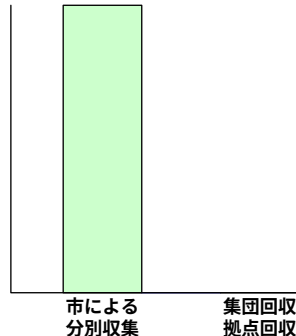
市民の皆さんの取り組みは？

- 市の決めたルールに従って分別に協力すれば十分です。
- 買い物をするときに、環境やごみのことを特段考える必要はありません。

家庭での分別は？

- びんも色ごとに分けるほか、古紙やトレイ、乾電池など約 20 品目程度に分別します。
- 古紙もトレイもすべて市の分別収集に出します。お店に持っていく必要はありません。

ごみの分別数



○施設整備に多大な費用を要するため、税負担が増加、あるいは福祉等の他の行政サービスに回せる税金は削減されます。

ごみ処理・リサイクル費用の税金による負担

環境への負担の増大

家庭

これまでどおりの生活様式、分別マナーの向上

○京都市による分別収集

京都市のごみ処理施設

従来型の焼却・リサイクルをベース

電力・熱の回収/利用

リサイクルや処理の方向性は？

- 適切に燃やします。

埋立処分

埋立処分量はそれほど減少しないため、いずれ処分場が逼迫します。

京都市の役割は？

- 分別収集品目を拡大、細分化し、分別ルールの徹底を図ります。
- 焼却炉もきちんと動かします。

事業所

これまでどおりの事業活動様式、分別の徹底

○許可業者による収集

事業者（民間）によるリサイクル

びん・缶・PETボトル
その他の分別品目のリサイクル

事業者の皆さんの取り組みは？

- 市の決めたルールに従って分別します。すべて市の処理・リサイクル施設に持ち込みます。
- 事業に必要な商品を購入するときに、環境やごみのことを特段考える必要はありません。